

津波避難計画

北海道における遠別地域の位置付

1. 平成21年北海道津波シュミレーション及び被害想定調査によると、「北海道北西沖」
2. 予想発生率 今後30年以内 0.006～0.1%程度
 今後50年以内 0.01～0.2%程度
3. 津波予想 4mを超える程度、到着10分

津波警報と注意報の発表

○日本の沿岸で起る大地震による津波予報は、地震発生後2～3分程度でラジオ・テレビ等で発表されます。

○津波予報は、津波警報と津波注意報に分けて発表されます。

津波警報と避難勧告のお知らせ

津波警報が発表された時や、避難を勧告する場合には、サイレンや防災無線及び双方向システムで知らせる。

役場や消防職員、警察官からの指示や、サイレンや防災無線及び双方向システム及び広報車両で避難の勧告または指示があったとき。また、テレビやラジオの情報をもとに、避難することも大切です。危険がせまったときは、少しでも早く避難する。

○避難するときの注意
持ち物は少なく、身軽な服装で、歩いて避難しましょう。

津波災害を防ぐために

○大きな地震を感じたらすぐに海岸を離れ高台へ
海岸から「より遠く」ではなく「より高いところ」へ避難することが大切です。
でも、どうしても高台まで避難できない時は、頑丈で高い建物に避難することも有効です。

○津波は何回もおそってきます
第1波が小さかったからといって、安心できない。
津波は、繰り返しおそってきます。津波警報等が解除されるまで、海岸に近づかないようにしましょう。

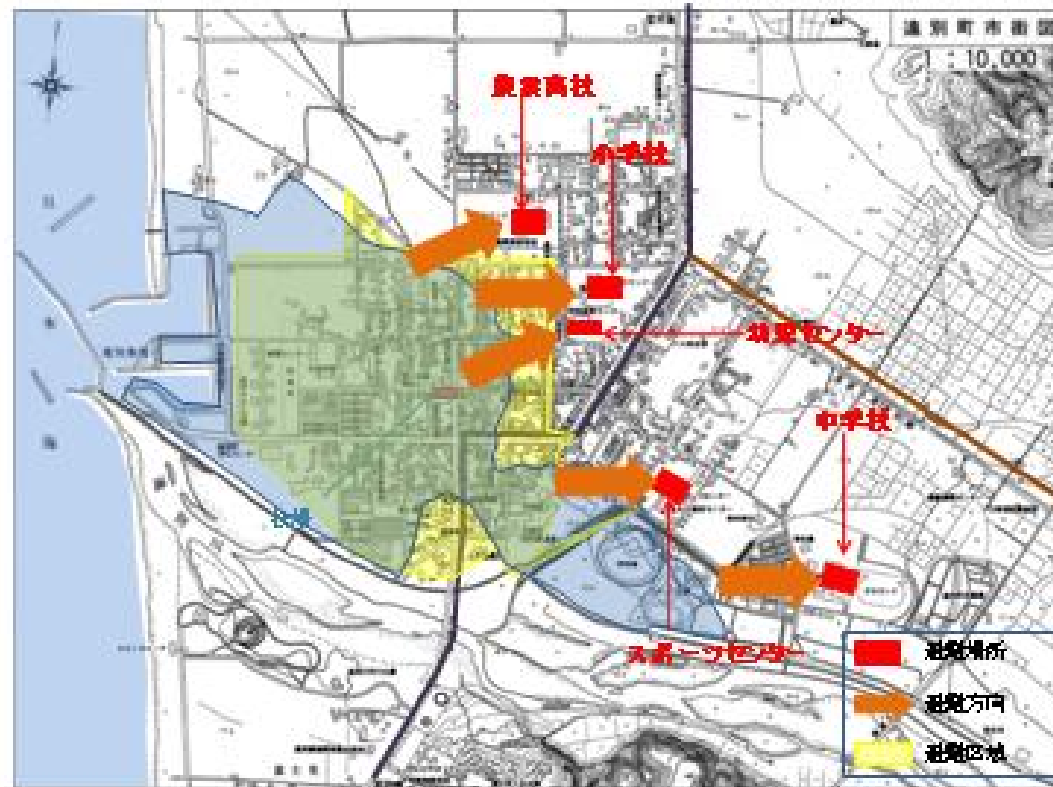
○揺れが小さくても油断はしない
からだに感じる揺れ方(震度)と地震の規模(マグニチュード)は別です。たとえ小さな揺れでも、大津波を引き起こす可能性もあります。
揺れが長時間続く場合は、油断しないで安全な場所へ避難しましょう。

○津波のスピードは速い
津波は海岸近くでは、秒速10メートル程度の速さになりますので、津波が見えてからではとても逃げ切れません。
また、潮を引かずにすぐに津波がおそってくる場合があります。

○正しい情報で冷静な行動が必要です
地震があったり、津波注意法や警報が発令されたら、テレビ、ラジオ等で正しい情報を入手し、冷静な行動をしてください。

津波発生時の避難場所

5m津波の想定避難施設



津波警報(5m程度の津波)

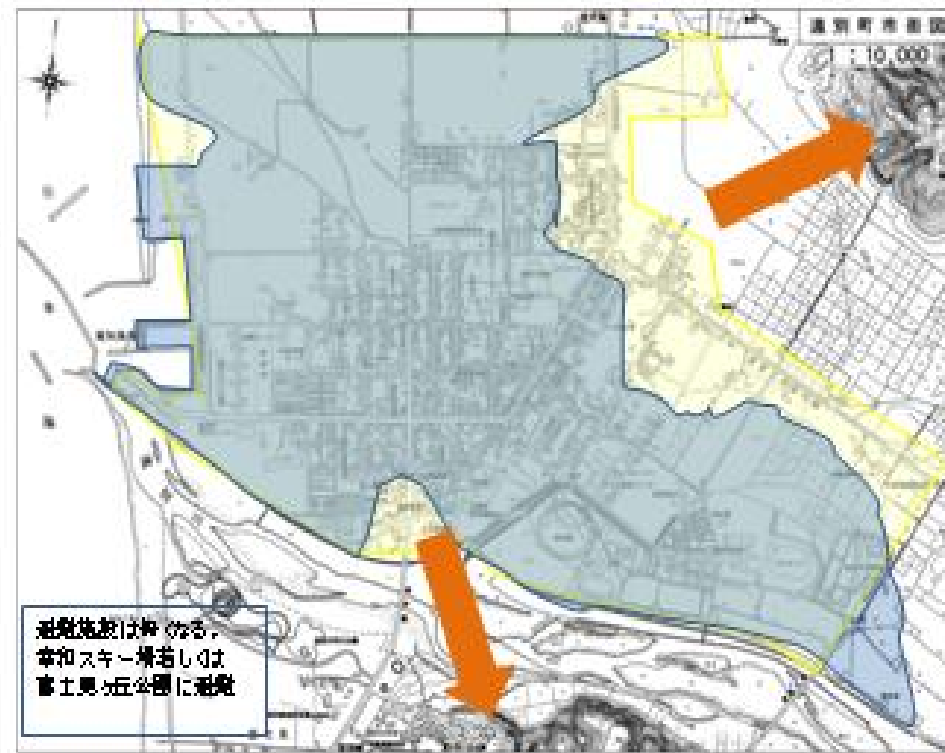
避難場所は玄明寺～林商店～スポーツ公園から西に位置する地域は避難対象とし、高校、小学校、スポーツセンターを避難場所とする。

北里・丸松・啓明地域の海岸地域は津波警報が発令されたら東側の小高いところへ避難する。

富士見・旭・歌越地域の海岸地域は津波警報が発令されたら東側の小高いところへ避難する。

津波発生時の避難場所

10m津波の想定避難施設



大津波警報(5mを超え10m程度)

避難場所は市街地内には無くなります。北はスキー場の山頂、南は富士見ヶ丘公園まで避難します。
車での避難は避けるようにします。

北里・丸松・啓明地域の海岸地域は津波警報が発令されたら東側の小高いところへ避難する。
富士見・旭・歌越地域の海岸地域は津波警報が発令されたら東側の小高いところへ避難する。